

TOTO

化粧鏡・化粧ケース

LMA601型(二面鏡)、LMA752型/LMA753型/LMA755型(三面鏡・スウィング三面鏡)
LCA600型/LCA750型(化粧ケース)

商品の機能が十分に発揮されるように、この組立・設置説明書の内容に沿って正しく取り付けてください。

1) 安全上のご注意

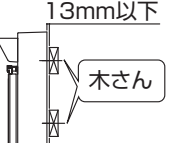
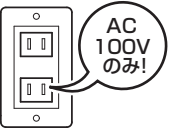
- 取り付け前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しく取り付けください。
- この説明書では、商品を安全に正しく取り付けいただくために、必ずお守りいただくことを、お知らせしています。使用者や他の人々への危害や物的損害を未然に防止するために、必ずお守りください。

表示	意味
 警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性および物的損害の発生が想定される内容を示しています。

■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

	⊘は、してはいけない「禁止」内容です。		❗は、必ず実行していただく「強制」内容です。
--	---------------------	--	------------------------

 警告	
 禁止 浴室など湿気の多い場所へ設置しない 漏電により感電するおそれがあります。 	 禁止 コンセントは化粧鏡の裏面には設置しない 化粧鏡が落下する原因になります。また、トラッキングによる火災の原因になります。
 禁止 電源コードを傷つけない 漏電および火災の原因になります。 	 必ず実行 水道・電気工事は、関連する法令・規定に従って、必ず「有資格者・指定業者」が行う 火災や感電および水漏れの原因になります。

 警告	
 必ず実行 鏡固定用ねじ取り付け位置に木さんを入れて補強する 化粧鏡が落下し、けがをするおそれがあります。 	 必ず実行 電源はAC100Vを使用する AC100V以外を使用すると過電流による火災の原因になります。 
 必ず実行 電源コードを傷つけないようにコード取出用切欠部より取り出す 電源コードを傷つけたり、壁との間に挟み込むと発熱や発火の原因になります。電源コードを壁との間に挟み込むと製品にゆがみが発生し、扉のゆがみなど、商品に悪影響を及ぼす原因になります。	

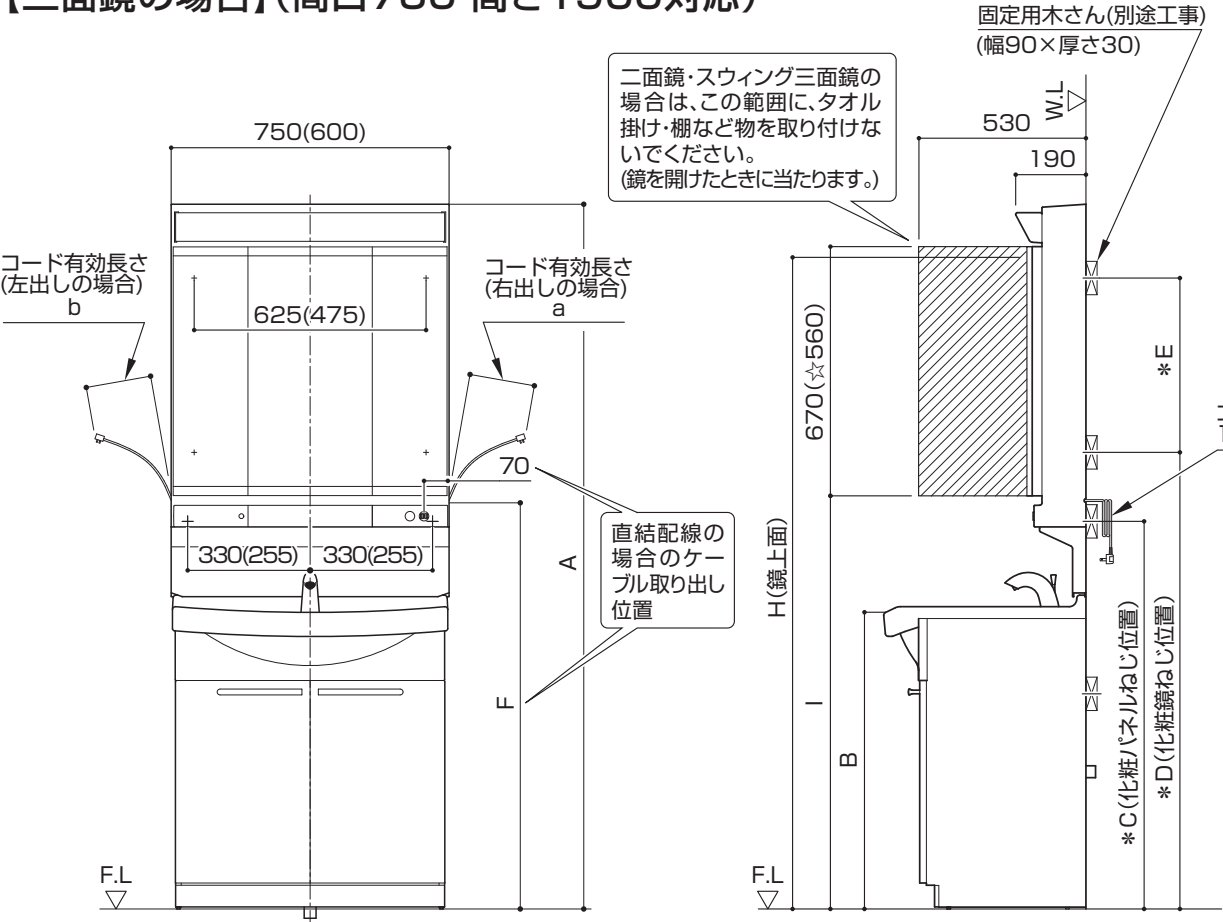
 注意	
 必ず実行 取り付け完了後、キャビネットの固定・扉の傾き・がたつき・丁番のゆるみがないかを必ず確認する 使用中にキャビネット・扉が落下してけがをするおそれがあります。	 必ず実行 照明カバーは確実に取り付ける 落下してけがをするおそれがあります。

2) 設置寸法

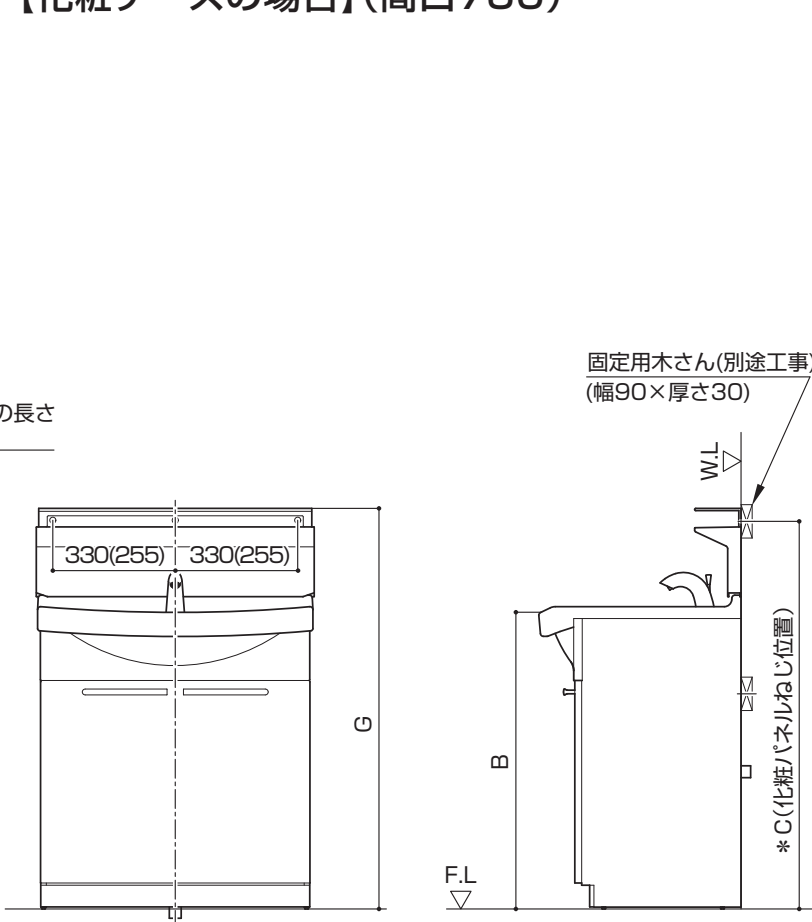
- 特注品の場合の設置寸法は、商品図を確認してください。
- *印の寸法は木ねじ位置を示します。
- ()内の寸法は、600サイズの寸法を示します。
- ☆の寸法は高さ1800対応の場合を示しています。

商品品番	A	B	*C	*D	*E	F	G	H	I	a(右)	b(左)
LMA601型	1850	750	995	1180	470	1015	－	1710	1060	1300	1050
LMA752型/753型	1900	800	1045	1230	470	1065	－	1760	1110	1300	1050
LMA755型	1740	750	995	1180	360	1015	－	1600	1060	1350	850
	1790	800	1045	1230	360	1065	－	1650	1110	1350	850
LCA600型/750型	－	750	995	－	－	－	1030	－	－	－	－
	－	800	1045	－	－	－	1080	－	－	－	－

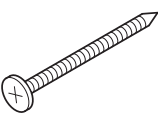
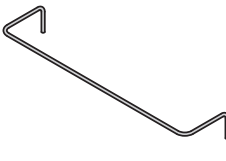
【三面鏡の場合】(間口750 高さ1900対応)



【化粧ケースの場合】(間口750)

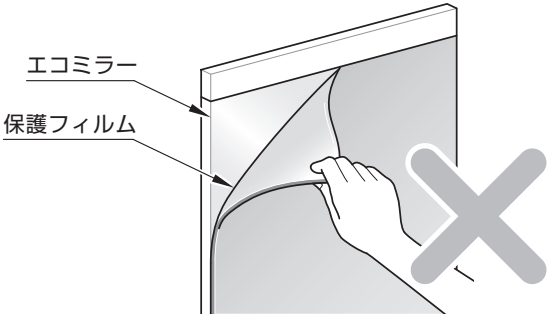


3) 付属部品明細

壁固定用ねじ (φ4.5×50)	化粧キャップ	ガードバー	ブッシュ
			
LMAの場合：7本 LCAの場合：3本	LMAの場合：4個 LCAの場合：3個	1本 ※LCAのみ	2個 ※LCAのみ

4) 設置上のご注意

- 鏡の取り出し、取り付けなどは必ず2人で作業してください。
- 鏡を置く場合は、床に必ず緩衝材(ダンボール等)を敷いてください。
- ご使用前に傷が付く原因になるため、エコミラーの保護フィルムとラベルは、はがさないでください。



5) 取り付け条件

- 化粧鏡は必ず壁に設置してください。
(窓の前などに設置できません。)
- 化粧鏡を取り付ける壁面はクロス貼りなどの仕上げを施してください。
- 化粧鏡の壁固定部分には、壁面に固定用木さんを入れてください。
(固定用木さんが取り付けられない場合は、設置壁の前面に厚み12mm以上のJAS規格品の合板を強固に取り付けてください。)(建築工事)

※三方壁に設置する場合は、商品開口に対して片側5mm以上のクリアランスを確保してください。

更に、ドア枠、額縁、幅木のチリを考慮してから壁仕上げ寸法を決めてください。

※コンクリート壁の場合、現物に合わせて鏡固定用ねじ位置に下穴をあけ、鏡固定用ねじに合ったプラグ(引き抜き強度：1,000N以上/本)を打ち込んでおいてください。

プラグは鏡固定用ねじに合わせて現場にて準備してください。

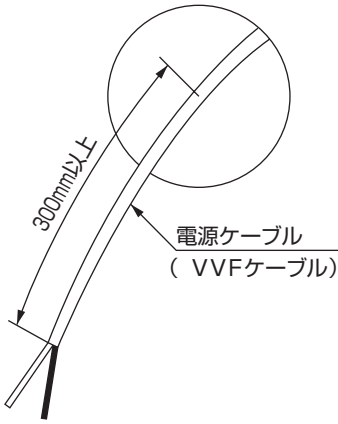
(プラグ用の下穴は必ず使用プラグ指定のドリル径であけてください。)

電気工事

【化粧鏡を直結配線にする場合】

- あらかじめ電気工事業者様にお願いして右図のように電源ケーブルを取り出しておいてください。

※取り出し位置は設置寸法を参照してください。



⚠ 警告



配線する工事は、関連する法令・規定に従って、必ず電気工事士の「有資格者」が行う

正しく被覆をむかないと、ショート・感電・火災の原因になります。

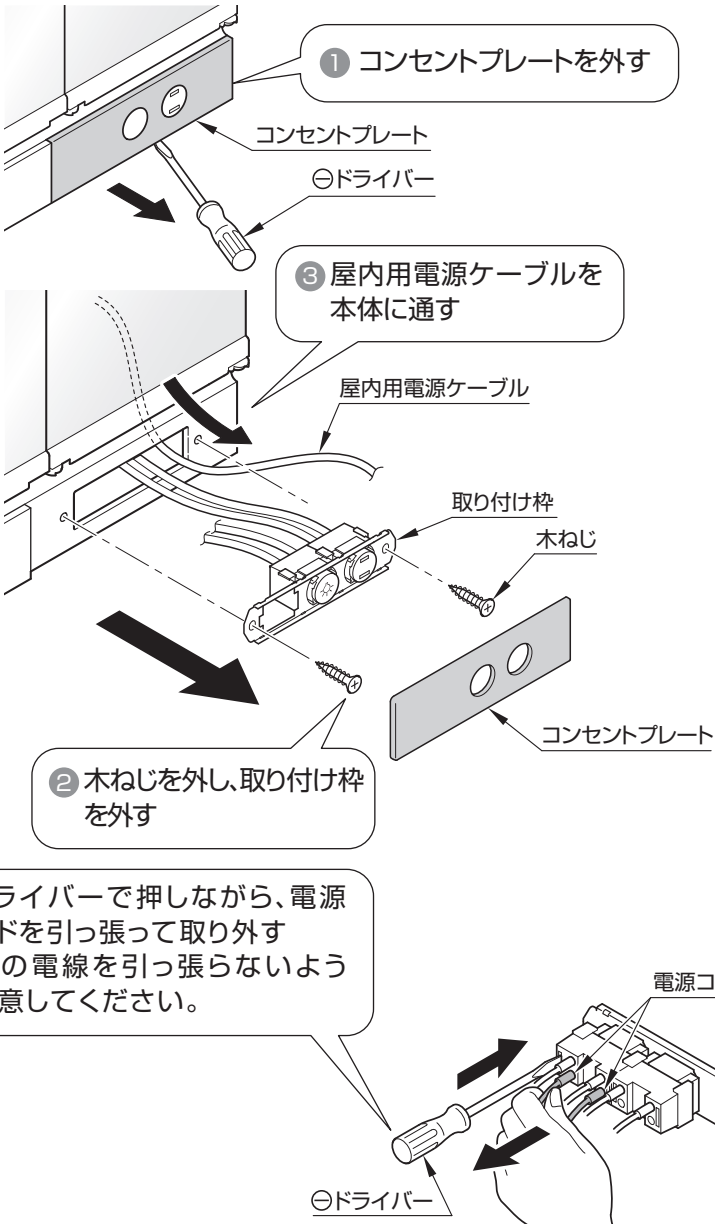


電源ケーブルを切断して、ケーブル同士を直接つながない

発火・火災の原因になります。

【化粧鏡を取り付けする前に】 直結配線の場合

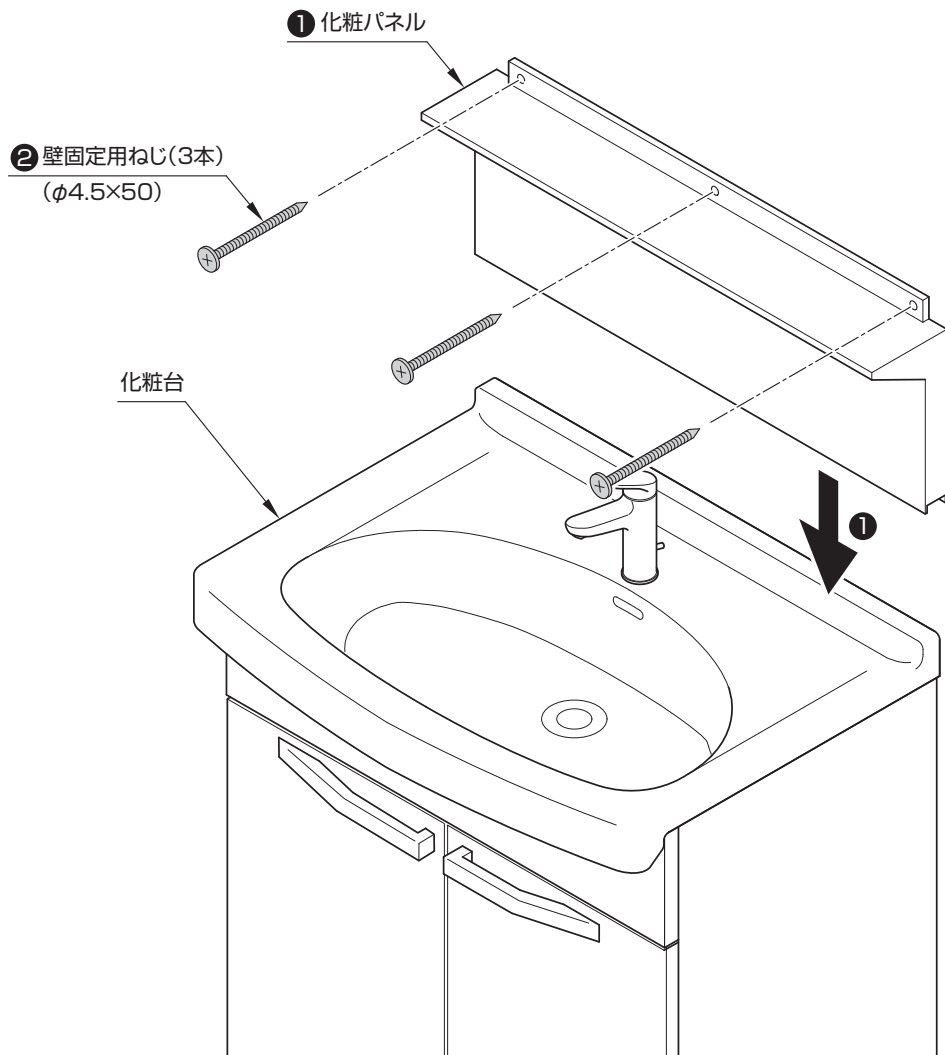
- コンセント部を取り外してください。



6) 化粧鏡の取り付け手順(番号順に取り付けてください。)

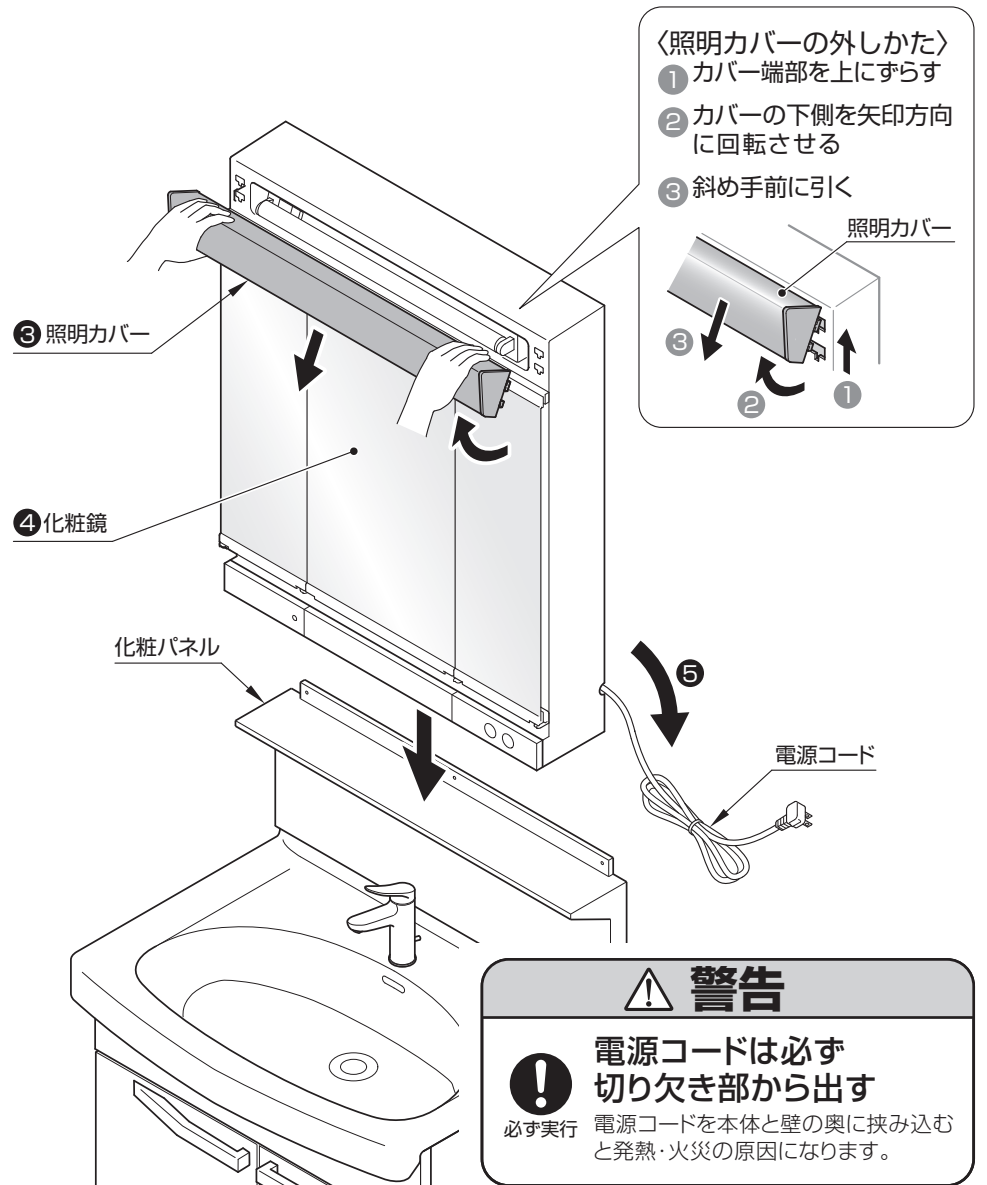
- 化粧パネルを化粧台の上にのせて左右の位置を合わせてください。
- 化粧パネルを付属の壁固定用ねじ(3本)で所定の位置に確実に固定してください。

※取り付け壁面がゆがんでいる場合は、壁固定用ねじのねじ込み代を調整しながらねじ込んでください。
壁とのすき間が大きい場合は、化粧パネルの裏面にライナー(現場調達)を入れてください。



- 照明カバーを取り外してください。
- 化粧鏡本体下部を化粧パネルの上にのせて左右のチリを合わせてください。
- その際、電源コードを本体横の溝から確実に外に出しておいてください。

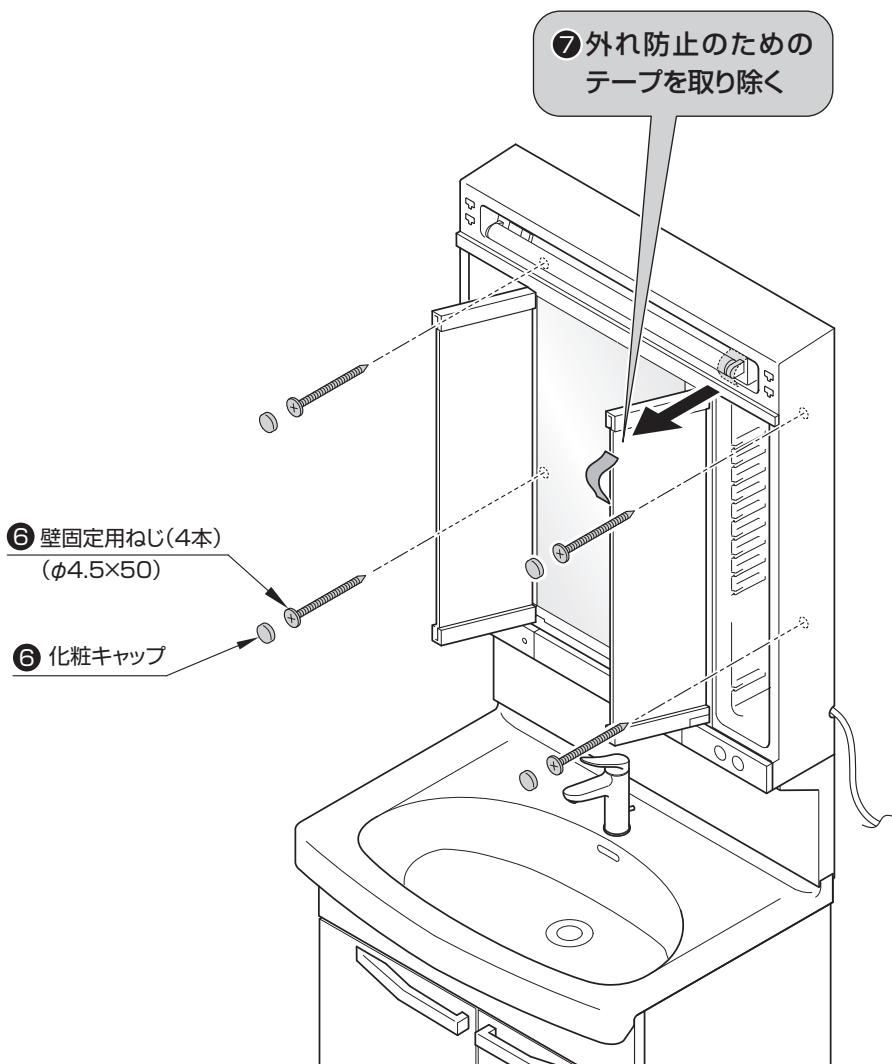
※裏面で電源コードがたるまないようにしてください。



- 壁固定用ねじ(4本)で所定の位置に固定してください。
付属の化粧キャップ(4個)をはめ込んでください。

※取り付け壁面がゆがんでいる場合は、鏡がゆがまないように、壁固定用ねじのねじ込み代を調整しながらねじ込んでください。
壁とのすき間が大きい場合は、化粧鏡の裏面にライナー(現場調達)を入れてください。

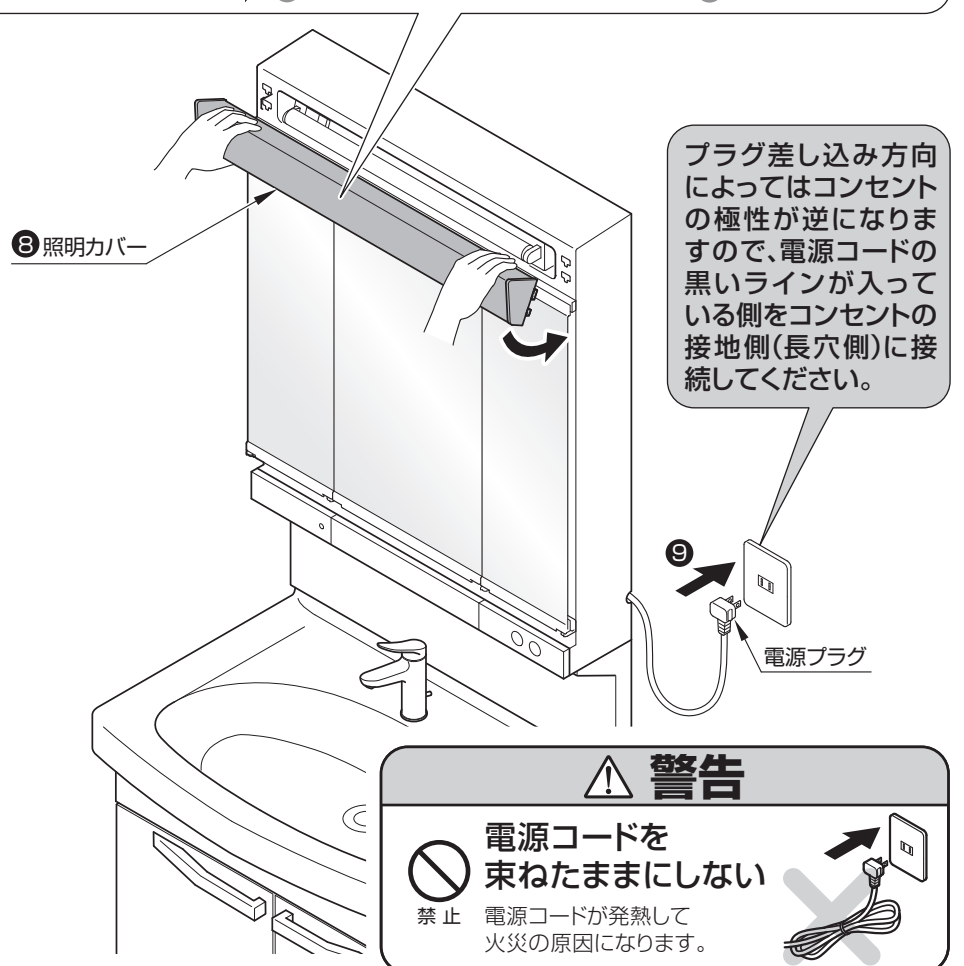
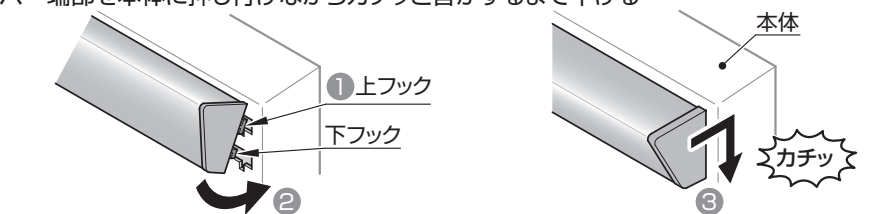
- ベーシックLED照明には、外れ防止のためのテープが貼り付けてありますので、必ず取り除いてください。



- 照明カバーを取り付けてください。
- 電源プラグをコンセントに接続してください。その際コードを束ねたまま接続しないでください。

〈照明カバーの取り付けかた〉

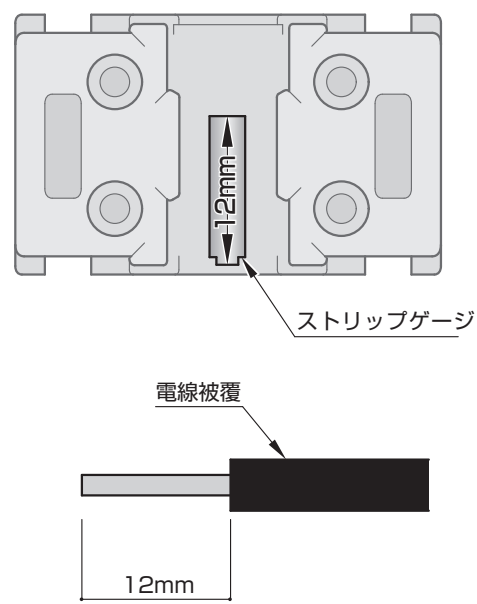
- 上フックを穴に挿入する
- カバー下部を回転させながら下フックを穴に挿入する
- カバー端部を本体に押し付けながらカチッと音がするまで下げる



【化粧鏡を取り付け後】

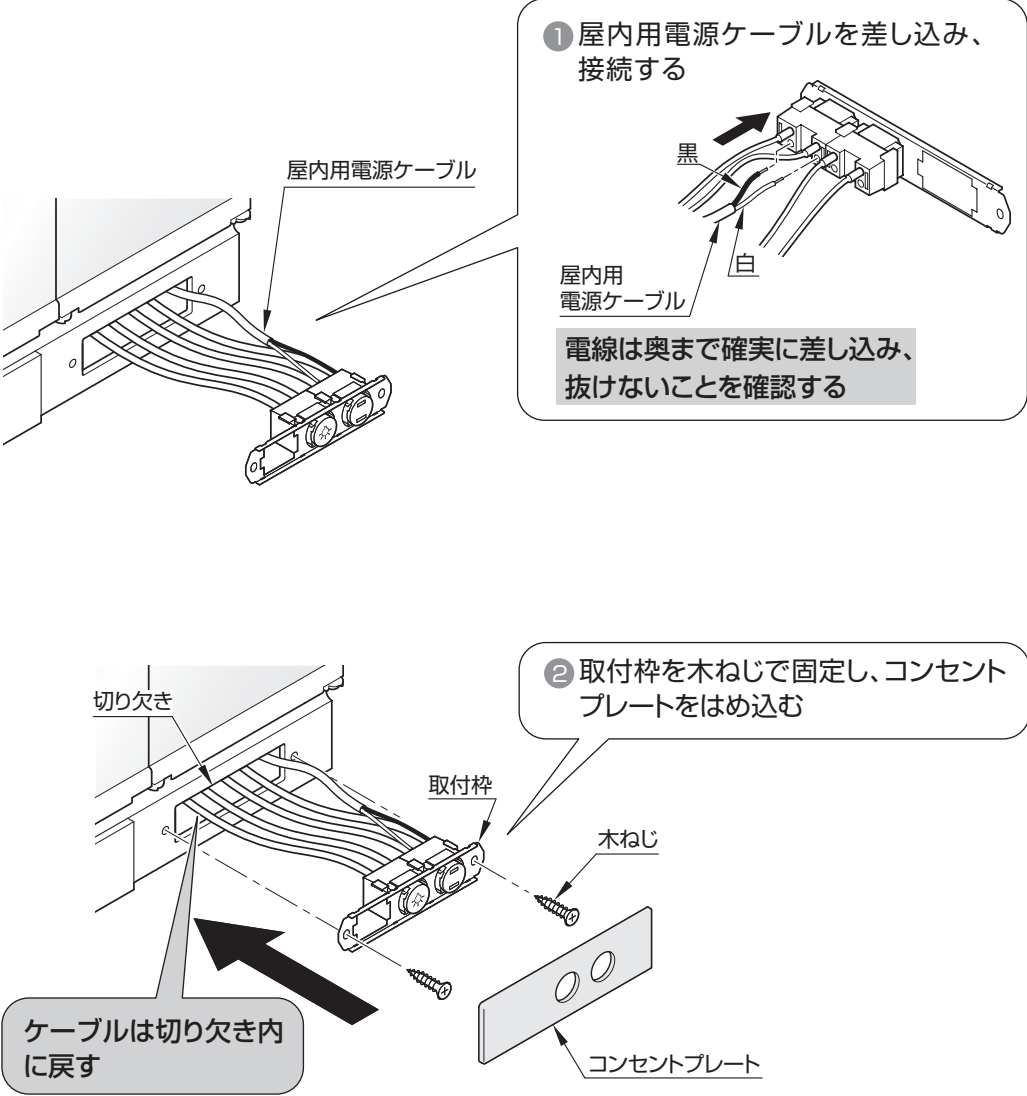
電気工事

- 屋内用電源ケーブルの電線被覆をむく長さはコンセントのストリップゲージにあわせてください。



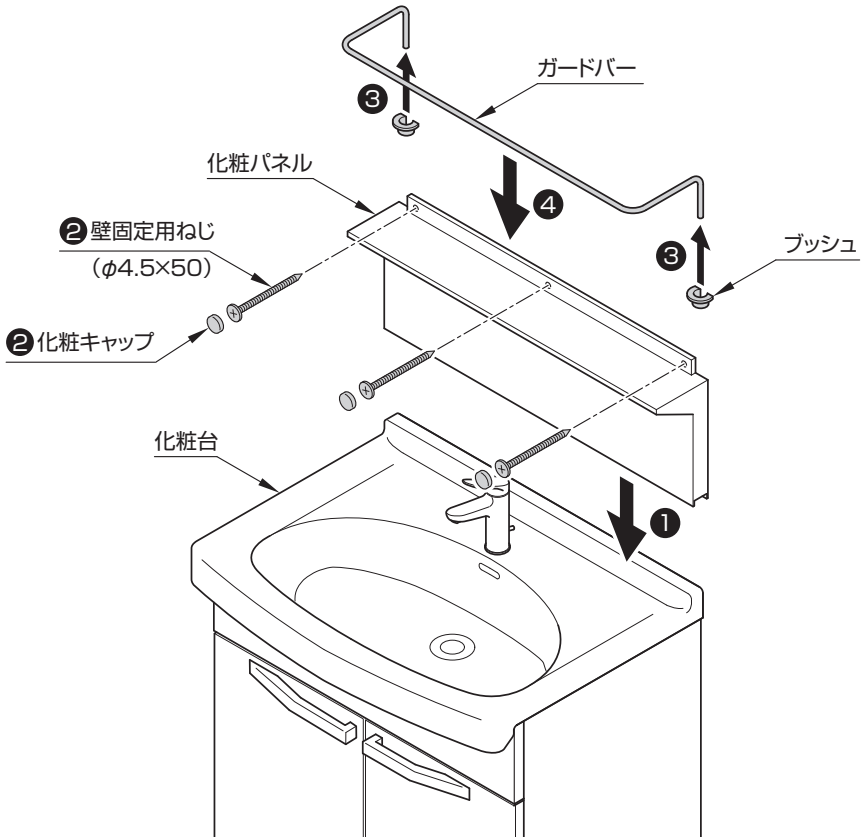
直結配線の場合

- コンセント部の接続と取り付けをしてください。

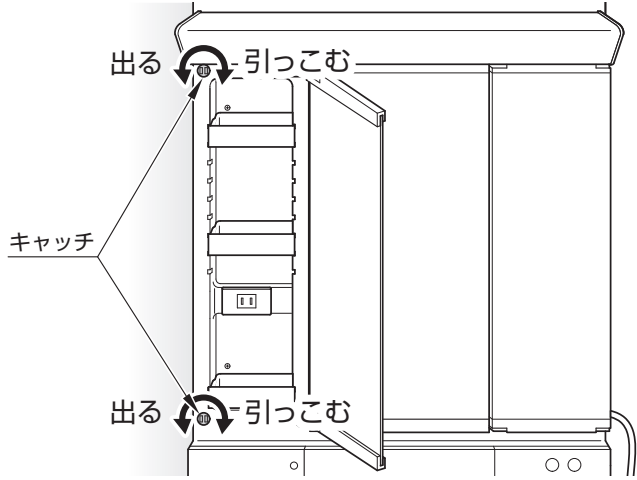


7) 化粧ケースの取り付け手順(番号順に取り付けてください。)

- ① 化粧パネルを化粧台の上にのせて左右の位置合わせをしてください。
- ② 化粧パネルを付属の壁固定用ねじ(3本)で所定の位置に確実に固定した後、化粧キャップを取り付けてください。
※取り付け壁面がゆがんでいる場合は、壁固定用ねじのねじ込み代を調整しながらねじ込んでください。
壁とのすき間が大きい場合は、化粧パネルの裏面にライナー(現場調達)を入れてください。
※壁固定は所定の固定穴を使用してください。
- ③ ガードバーにブッシュを取り付けてください。
※ブッシュはカット面が壁側になるようにして、ガードバーの半ばまで差し込んでください。
- ④ ガードバーを化粧パネルに差し込んでください。
※ガードバーを差し込んだ後、ブッシュを化粧パネルに確実に差し込んでください。



8) 取り付け完了後の確認と清掃



- 商品が壁に確実に固定されていることを確認してください。
 - 照明スイッチを入れて照明が点灯することを確認してください。
 - トレイが確実にセットされていることを確認してください。
 - 鏡扉が確実に閉まるか確認してください。
 - 閉まらない場合は、上図のように上下のキャッチの高さを調整してください。
 - コンセントに通電していることを確認してください。
 - 商品に付いた汚れ(プラスチック部品の静電気による黒い汚れを含む)は、ぬれた布をかたくしぼってふき取ってください。
その後、水を湿らせた布に少量の中性洗剤を付けてふき上げ、最後にからぶきしてください。
- 重要**
- ※有機溶剤(シンナー・アセトンなど)の使用は表面を変色・変質の原因になりますので、絶対に使用しないでください。
 - 直射日光にさらされる場合は必ずカーテンなどでさえぎってください。